

令和7年度・建築物省エネ法講習（小規模非住宅建築物設計者用）の事前準備について

本講習では、床面積が 300 m²未満の小規模非住宅に使用できる簡易計算法「モデル建物（小規模版）」の計算プログラムを使用した入力演習を行います。講習日までに、当日持参するノート PC のデスクトップ等に、入力シート（Excel）をダウンロードし、Excel が問題なく作動するか（選択項目をプルダウンで選択できるか、入力項目に入力できるか）を確認して下さい。

○入力シートのダウンロード場所

「建築研究所」で検索、または、以下の URL からアクセスして下さい

▼建築研究所 HP

<https://www.kenken.go.jp/>

建築研究所



建築研究所 TOP ページ

Building Research Institute (BRI) homepage screenshot. The page features a header with the BRI logo and navigation links. A large banner for the 'Building Research Institute Lecture' (建築研究所 講演会) is displayed, dated February 21, 2025. Below the banner, there is a section for 'New Information' (新着情報) with a list of recent updates. A red callout box points to a link in the 'New Information' section, labeled '省エネ基準・低炭素建築物認定基準' (Energy Efficiency Standards and Low Carbon Building Certification Standards). The page also includes a sidebar with various links and a footer with additional information.

建築物のエネルギー消費性能に関する技術情報

国立研究開発法人建築研究所（協力：国土交通省国土技術政策総合研究所）

掲載内容一覧

1. はじめに
2. 更新履歴
3. 技術情報の更新について
4. 住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム及び技術情報
 - 4.1 住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム
 - 4.2 技術情報
5. 非住宅建築物に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム及び技術情報
 - 5.1 非住宅建築物に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム
 - 5.2 技術情報
6. 参考情報
 - 6.1 リンク
 - 6.2 お問い合わせ

5.1 非住宅建築物に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム

非住宅に関する各種計算プログラムに関連するコンテンツを提供するサイト「非住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」を新たに開設しました。

- ・ 2023年10月以降、エネルギー消費性能計算プログラム、モデル建物法、小規模版モデル建物法等の計算プログラムへは、最新バージョン・旧バージョン・次期バージョンともに、「非住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」からアクセスできます。
- ・ 2023年10月以降、プログラムに関する更新履歴については、「非住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」においてお知らせ致します。（技術情報に関連する更新履歴は、本ページにおいてお知らせ致します。）

「非住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」
のサイトに移動する

上記プログラムのリンク先URL → <https://building.lowenergy.jp/>



プログラム・入力補助ツール

従来の小規模版モデル建物法は、モデル建物法（小規模版）としてモデル建物法に統合されました。

- ・ 今後はモデル建物法と同様に、小規模建物専用の入力シートに必要な事項を入力し、「エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版)モデル建物法」プログラムでアップロードすることで計算結果を得られます。
- ・ 届出制度、説明義務制度に利用可能な旧版の小規模版モデル建物法のプログラムは2025年3月31日まで使用できます。

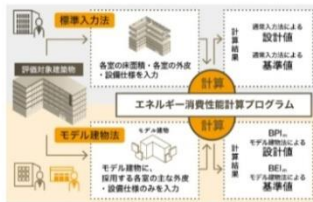


計算プログラムを使う

エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版)
標準入力法

エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版)
モデル建物法
(新版)小規模版を含む

新バージョンのプログラム公開後6か月間は、旧バージョンのプログラムも継続して公開します。



エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版)には、「標準入力法」「モデル建物法」の2種類のプログラムがあります。いずれのプログラムも同じ計算方法仕様を使っていますが、「モデル建物法」のプログラムは、前提条件(モデル)が定められている。「標準入力法」に比べ入力できる項目少なくなっており、かつ、前提条件が存在します。

プログラム・入力補助ツール

標準入力法	マニュアル	標準入力法の入力マニュアル	※07.04.01公開
	マニュアル	複数建築物の連携による性能向上認定に係る入力マニュアル	※03.04.01公開
	Excelファイル	外皮・設備仕入れシート ※印刷可能な入力シート(※印刷可能なシート)を印刷して、Excel(※Excel)で入力することにより、印刷が可能です。ただし、印刷は自己責任で行ってください。Excel 2007では正常に動作しません。サポート対象外とさせていただきます。	※07.04.01公開
	サンプル	事務所モデル(標準入力法)	※07.04.01公開
	サンプル	IBEC事務所(標準入力法)	※07.04.01公開
モデル建物法	マニュアル	モデル建物法の入力マニュアル	※07.04.01公開
	Excelファイル	モデル建物法入力シート	
	サンプル	事務所モデル(モデル建物法)	
	マニュアル	モデル建物法(小規模版)の入力マニュアル	
	Excelファイル	モデル建物法(小規模版)入力シート	
ツール	Excelファイル	軽微な変更の確認シート	
	マニュアル	軽微な変更の判断の仕方について	
	Excelファイル	日よけ効果係数算出ツール Ver.3.8.0	※07.04.01公開
補足資料	Excelファイル	標準定価条件下の熱源性能推定ツール	※20.04公開
	マニュアル	既存建築物の増改築時における省エネ性能の算定の考え方について	※06.05.22公開

モデル建物法(小規模版)入力シートをクリックして、Excelの入力シートをダウンロードし、当日持参するノートPCのデスクトップ等わかりやすいところに貼り付けて下さい

○入力シート(Excel)の動作確認

①②に入力できるか確認して下さい。
入力が終わりましたら、上書き保存して下さい。

様式SA 基本情報

① シート作成月日	講習日を入力して下さい		
② 入力責任者	ご自身のお名前を入力して下さい		
③ 建物名称			
④ 建築物所在地	都道府県		市区町村
⑤ 省エネルギー基準地域区分			
⑥ 年間日射地域区分			
⑦ 延べ面積 [㎡]			
⑧ 建築基準法施行規則別記様式に定める用途	記号		
	用途の区分		
⑨ モデル建物法で適用する建物モデルの種類	建物用途		
	室用途 (集会所等の場合のみ)		
⑩ 計算対象部分の床面積 [㎡]			
⑪ 計算対象部分の空調対象床面積 [㎡]			

⑤⑥をクリックして、プルダウンの中からどれでも構いませんので、選択肢を選択できるか確認して下さい。
入力は講習日当日に行いますので、事前準備の段階では、動作確認のみで構いません。

入力シート(Excel)に入力等ができない場合、入力演習を行うことができません。

PC の設定等に関してはお問い合わせいただいても対応できかねますので、ご自身で対処いただきますようお願い致します。

◎お願い(講習案内文にも記載させていただいていますが、ノート PC に関して今一度ご確認ください)

- ・当日ご持参いただくノート PC は、フル充電してお持ち下さい。
- ・念のため電源アダプターも必ずご持参下さい。
- ・ノート PC は Wi-Fi「無線 LAN」機能付が必要で、Excel が使用できるものとします。